

生物多様性国家戦略 2012-2020

第1部：戦略

【自然共生社会実現のための基本的な考え方】

「自然のしくみを基礎とする真に豊かな社会をつくる」

【生物多様性の4つの危機】

「第1の危機」

開発など人間活動による危機

「第2の危機」

自然に対する働きかけの縮小による危機

「第3の危機」

外来種など人間により持ち込まれたものによる危機

「第4の危機」

地球温暖化や海洋酸性化など地球環境の変化による危機

【生物多様性に関する5つの課題】

- ① 生物多様性に関する理解と行動
- ② 担い手と連携の確保
- ③ 生態系サービスでつながる「自然共生圏」の認識
- ④ 人口減少等を踏まえた国土の保全管理
- ⑤ 科学的知見の充実

【目 標】

◆ 長期目標 (2050年)

生物多様性の維持・回復と持続可能な利用を通じて、わが国の生物多様性の状態を現状以上に豊かなものとするとともに、生態系サービスを将来にわたって享受できる自然共生社会を実現する。

◆ 短期目標 (2020年)

生物多様性の損失を止めるために、愛知目標の達成に向けたわが国における国別目標の達成を目指し、効果的かつ緊急な行動を実施する。

【自然共生社会における国土のグランドデザイン】

100年先を見通した自然共生社会における国土の目指す方向性やイメージを提示

【5つの基本戦略】…2020年度までの重点施策

- 1 生物多様性を社会に浸透させる
- 2 地域における人と自然の関係を見直し、再構築する
- 3 森・里・川・海のつながりを確保する
- 4 地球規模の視野を持って行動する
- 5 科学的基盤を強化し、政策に結びつける

第2部：愛知目標の達成に向けたロードマップ

- 「13の国別目標」とその達成に向けた「48の主要行動目標」
- 国別目標の達成状況を把握するための「81の指標」

第3部：行動計画

- 約700の具体的施策
- 50の数値目標

前 文

【生物多様性国家戦略 2012-2020 の背景と役割】

【生物多様性国家戦略のあゆみ】

【生物多様性国家戦略 2012-2020 の構成】

【実施状況の点検と見直し】

第 1 部 生物多様性の保全及び持続可能な利用に向けた戦略

第 1 章 生物多様性の重要性と自然共生社会の実現に向けた理念

第 1 節 生物多様性とは何か

- 1 地球のなりたちと生命の誕生
- 2 大絶滅と人間の活動
- 3 生物多様性とは何か

第 2 節 いのちと暮らしを支える生物多様性

- 1 生態系サービスとは
- 2 いのちと暮らしを支える生物多様性
 - (1) 生きものがうみだす大気と水（基盤サービス）
 - (2) 暮らしの基礎（供給サービス）
 - (3) 文化の多様性を支える（文化的サービス）
 - (4) 自然に守られる私たちの暮らし（調整サービス）

第 3 節 生物多様性に支えられる自然共生社会の実現に向けた理念

第 2 章 生物多様性の現状と課題

第 1 節 COP10 及びMOP5 の成果概要

第 2 節 世界の生物多様性の現状と日本のつながり

- 1 世界の生物多様性
- 2 世界的にみた日本の生物多様性の特徴
- 3 世界の生物多様性に影響を与える日本

第 3 節 生物多様性の危機の構造

- 1 第 1 の危機（開発など人間活動による危機）
- 2 第 2 の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）
- 3 第 3 の危機（人間により持ち込まれたものによる危機）
- 4 第 4 の危機（地球環境の変化による危機）

第4節 わが国の生物多様性の現状

- 1 生物多様性総合評価
- 2 野生生物等の現状
- 3 生態系の現状
- 4 東日本大震災による生物多様性への影響

第5節 生物多様性の保全及び持続可能な利用の状況

- 1 生物多様性の保全及び持続可能な利用に係る制度の概要
- 2 生物多様性の保全に資する地域指定制度等の概要
- 3 野生生物の保全・管理に関する取組
- 4 東日本大震災からの復興に向けた取組

第6節 生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた課題

- 1 生物多様性に関する理解と行動
- 2 担い手と連携の確保
- 3 生態系サービスでつながる「自然共生圏」の認識
- 4 人口減少等を踏まえた国土の保全管理
- 5 科学的知見の充実

第3章 生物多様性の保全及び持続可能な利用の目標

第1節 わが国の目標

第2節 自然共生社会における国土のグランドデザイン

- 1 基本的な姿勢「100年計画」
- 2 国土のグランドデザインの全体的な姿
- 3 国土の特性に応じたグランドデザイン
 - (1) 奥山自然地域
 - (2) 里地里山・田園地域（人工林が優占する地域を含む）
 - (3) 都市地域
 - (4) 河川・湿地地域
 - (5) 沿岸域
 - (6) 海洋域
 - (7) 島嶼地域

第4章 生物多様性の保全及び持続可能な利用の基本方針

第1節 基本的視点

- 1 科学的認識と予防的かつ順応的な態度
- 2 地域に即した取組
- 3 広域的な認識

- 4 連携と協働
- 5 社会経済における生物多様性の主流化
- 6 統合的な考え方
- 7 持続可能な利用による長期的なメリット

第2節 基本戦略

- 1 生物多様性を社会に浸透させる
- 2 地域における人と自然の関係を見直し、再構築する
- 3 森・里・川・海のつながりを確保する
- 4 地球規模の視野を持って行動する
- 5 科学的基盤を強化し、政策に結びつける

第3節 各主体の役割と連携・協働

第2部 愛知目標の達成に向けたロードマップ

- 1 戦略計画 2011－2020（愛知目標）
- 2 愛知目標の達成に向けたわが国の国別目標の設定

第3部 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する行動計画

行動計画の構成と国別目標との関係

第1章 国土空間的施策

【広域連携施策】

- 第1節 生態系ネットワーク
- 第2節 重要地域の保全
- 第3節 自然再生
- 第4節 環境影響評価など

【地域空間施策】

- 第5節 森林
- 第6節 田園地域・里地里山
- 第7節 都市
- 第8節 河川・湿原など
- 第9節 沿岸・海洋

第2章 横断的・基盤的施策

【普及と実践】

第1節 生物多様性の主流化の推進

【野生生物の保護と管理】

第2節 野生生物の適切な保護管理等

第3節 外来種等の生態系を攪乱する要因への対応

【持続可能な利用】

第4節 農林水産業

第5節 エコツーリズム

第6節 生物資源の持続可能な利用

【国際的取組】

第7節 国際的取組の推進

【科学的基盤の強化】

第8節 情報整備・技術開発の推進

【地球温暖化に対する取組】

第9節 生物多様性の観点からの地球温暖化の緩和と影響への適応の推進

【統合的取組】

第10節 自然共生社会、循環型社会、低炭素社会の統合的な取組の推進

第3章 東日本大震災からの復興・再生

第1節 東日本大震災からの復興・再生

第2節 新たな自然共生社会づくりの取組